

## 授業科目 身体障害作業療法学実習

【担当教員名】 濱口豊太、能登真一、荒木律子、今井潤、土田尚美	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【一般目標：G I O】 身体障害の治療と生活支援の手技・手段を身につける。				
【行動目標：S B O】				
1. 評価実習における問題点が理解でき、対処法を整理できる。 2. 身体機能回復・代償の方法についてまとめることができる。 3. 与えられた症例の一般情報と作業療法評価の結果から治療計画を立案できる。 4. 3の治療計画に基づいてシミュレーション治療を試みる。 5. クリニカルリーディングの方法を修得する。				
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号 学習方法・学習課題又は稽考・担当教員
1	心身機能・身体構造の障害に対する治療計画			1 演習、濱口
2	脳血管障害の評価計画			2 演習、濱口
3	脳血管障害の治療計画			3 演習、濱口
4	脳血管障害の臨床：脳出血、くも膜下出血、脳梗塞			4 講義、今井
5	脳血管障害の生活機能と利き手交換：脳出血、くも膜下出血、脳梗塞			4 講義、今井
6	神経変性疾患の評価計画			4 演習、濱口
7	神経変性疾患の治療計画			4 演習、濱口
8	神経変性疾患の生活機能：筋萎縮性側索硬化症、シャイ・ドレーガー症候群、ハンチントン病			4 講義、荒木
9	非外傷性脊髄損傷の機能回復・代償：多発性硬化症、脊髄炎、脊髄血管障害			4 講義、荒木
10	呼吸器疾患・循環器疾患の機能回復・代償			4 実習、能登
11	ハイリスク・体力消耗状態の機能回復・代償			4 実習、能登
12	末梢神経障害の臨床			4 実習、土田
13	手の外科の臨床（1）			4 実習、土田
14	手の外科の臨床（2）			4 実習、土田
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書		身体機能作業療法学	岩崎テル子	医学書院
				4935円
参考書		①作業—その治療的応用、	日本作業療法士協会、	協同医書出版社、 1985, 8500円
		②図解：作業療法技術ガイド、石川寅、古川宏編、	文光堂、	最新版、7000
その他の資料				
【評価方法】 出席点：10%		【履修上の留意点】		
期末試験：レポート提出30%、筆記60%				